民間に、まちづくりを任せていいのか。

中宇治のこれからを、
紫波町の20年から考える一夜。

中宇治地域に、新しい交流拠点をつくろうとしています。
つくるのは民間、使うのは市民、責任をもつのは市。
ーそう聞いて、素直にうなずける人ばかりではないと思います。

民間に、まちづくりを任せていいのか。
中宇治の環境が、変わってしまうのではないか。
儲からなくなったら、逃げられるのではないか。

第1部では、その問いを、この場で出してください。
岩手県紫波町は、20年近く、民間と一緒にまちづくりに取り組まれています。
紫波町の職員に「行政だからできること」をお話いただいた上で、
みなさまの問いにそれぞれの目線から答えます。

第2部は、紫波の酒と宇治の食で。
会場の中宇治BASEは、もともと酒屋だった建物です。
酒屋に、お酒が戻る夜になります。

■お申込み方法　QRコードからお申込みください。
https://forms.gle/umJoYbhf8C6g2Fji6

- ☑ 第1部のみ参加 or 第1部及び第2部参加を選択
- ☑ あなたの疑問を聞かせてください。
  - 当日も疑問カードを用意します。
    （無記名で記入することができます。）

10/16(金)まで

第1部主催
宇治市

第2部主催
株式会社オガール
UDCU

協力
中宇治まちづくり株式会社
和旬 Kien

中宇治まちづくり トークセッション
ー公民連携でつくる中宇治地域の未来ー

2026
10/26 月曜日

第1部　17：00～18：45
（受付16：45～）
第2部　19：00～21：00

会場　**中宇治BASE**
宇治市宇治妙楽21-1
旧今村酒店

【第1部】トークセッション（宇治市主催）　無料

1　話題提供「行政だからできること」
　話し手：紫波町職員 須川翔太さん（現・株式会社オガール研修派遣中）
　株式会社オガール 代表取締役 岡崎 正信さん
2　トークセッション「民間に、まちづくりを任せていいのか。」
　疑問歓迎！　みなさまからの疑問に登壇者が答えます。

〈トークセッションの3つのルール〉
どんな疑問でもOK!! ／人への批判はNG／うやむやにしない

【第2部】交流会「酒屋に、お酒が戻る夜。」

（株式会社オガール／UDCU主催）※会費制交流会です。

1　紫波の酒をご紹介
　「酒のまちづくり」
2　宇治の食をご紹介
3　交流会

会費　3,000円
定員　30名 ※多数の場合、抽選

宇治市 市民協働推進課
shiminkyodo@city.uji.kyoto.jp
0774-20-8721（直通）

「オガール（岩手県紫波町）」は、全国から注目を集める公民連携（PPP）事業です。 かつて使い道がなく塩漬けになっていた駅前の町有地（10.7ヘクタール）を、行政と民間がタッグを組んで開発しました。多額の補助金に頼り切るのではなく、民間事業としてしっかりと収益を出しながら、図書館、農産物マルシェ、ホテルなどを整備。年間100万人以上が訪れる、まちの中心的なにぎわい拠点として育っています。 「施設をつくって終わり」ではなく、民間が稼いだ利益で公共施設を維持管理するという、持続可能なまちづくりを約15年にわたって実践し続けています。

株式会社オガール
代表取締役

岡崎 正信さん

1972年生まれ、紫波町在住。
1995年に地域振興整備公団（現在のUR都市機構）に入団し、各地で地域再生事業に従事する。2003年紫波町にUターンし岡崎建設(株)に入社。その後、オガールプロジェクトを企画推進すると共に、(株)マザー・オガール地域創生アカデミーを設立し、学校跡地でノウルプロジェクトを事業化している。

紫波町職員
現・株式会社オガール研修派遣中

須川 翔太さん

1984年生まれ、紫波町在住。
2007年入庁。町を盛り上げるべく、大学生のインターンや地域おこし協力隊を活用し、若者のチャレンジを後押ししている。空き校舎となった母校を活用し酒産業の振興をはかる「はじまりの学校」と、ラ・フランス温泉のリニューアルを推進している。